

# 65 DIT制震筋かい金物

〔制震筋かい金物〕

筋かい金物と制震装置がひとつになった制震筋かい金物です。  
揺れに耐えながら地震のエネルギーを効率的に吸収し、建物の揺れ幅を低減します。



内付け用

告示 平12建告第1460号第1号

二 対応 (P.268~参照)

DSS-I

ホールダウン金物(アンカーボルト)との干渉を考慮し内付け用を推奨とします。  
筋かい側のビスは裏面から打ち込みます。

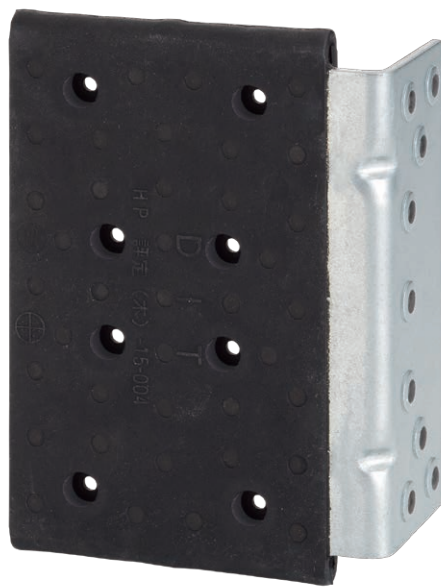
内付け用 / 外付け用

兼用ではありません。

表面

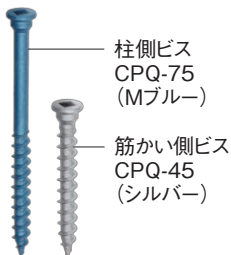


裏面

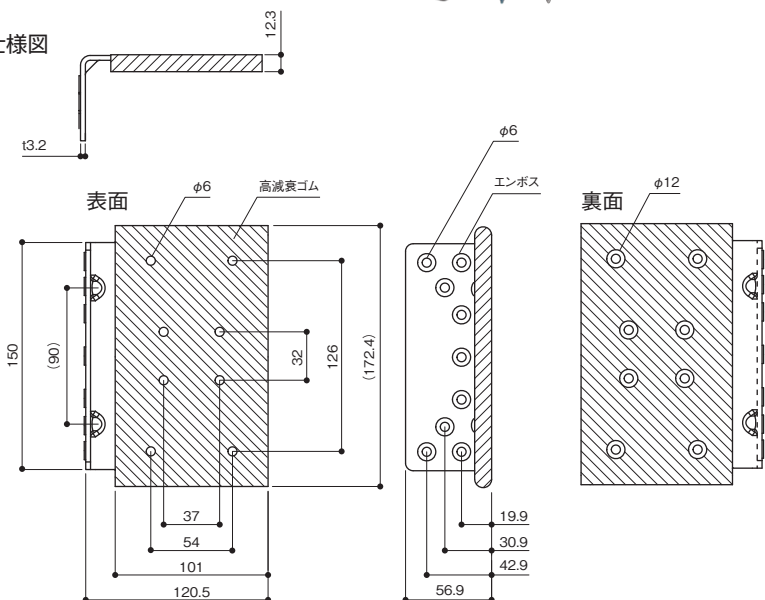


H29年  
夏発売  
予定

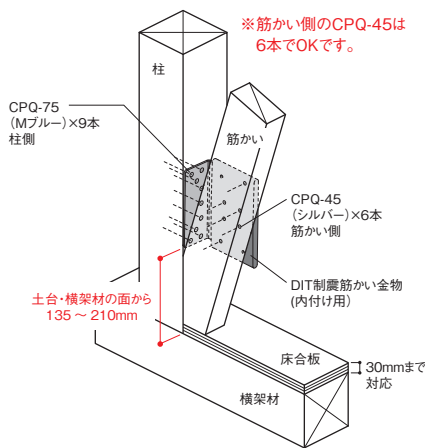
内容が変更になる場合がございます。最新情報は  
BXカネシンホームページ  
または最新パンフレットを  
ご確認ください。



■仕様図



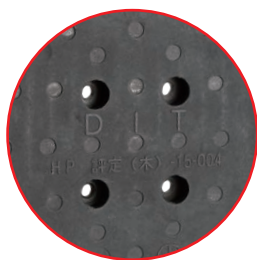
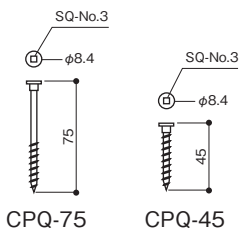
■取付図



※筋かい側のCPQ-45は  
6本でOKです。

■筋かい側ビス打ち込み位置

筋かい側のビスは6本打ちます。



●金物の表面と裏面でビス穴の形状が  
異なります。大きく穴が空いている面  
から筋かい側のビスを打ち込みます。

●筋かいの向きによって、共通の4本とL側2本の計6  
本、または共通の4本とR側2本の計6本を打ちます。

基礎・床下・土留金物

構造金物 / 補強金物

2x4用金物

Z・Cマーク表示金物

金物工法

中・大規模木造建築金物

制震装置

造作用金物

点検口

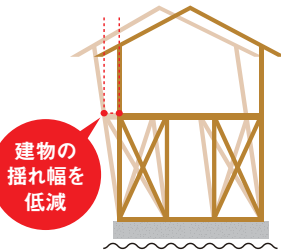
換気口

資材

# DIT制震筋かい金物3つの特長

- ① 設計変更不要
- ② 簡単施工
- ③ 低コスト

筋かい金物をDIT制震筋かい金物に変えるだけで、設計変更をせずに制震効果が得られます。通常の筋かい金物と変わらないビス接合なので簡単に施工できます。予算や効果にあわせて設置数が選べるため低コストでの導入も可能です。



**外付け用** 告示 平12建告第1460号第1号  
対応 (P.268~参照)

**DSS-O**

内付け用と製品が異なります。ホールダウン金物(アンカーボルト)と干渉し、柱側ビスが打てない場合があります。外付け用製品を内付けでご使用いただくことはできませんので、ご注意ください。  
筋かい側のビスは**表面**から打ち込みます。

表面

裏面

柱側ビス  
CPQ-75  
(Mブルー)

筋かい側ビス  
CPQ-45  
(シルバー)

■仕様図

CPQ-75 CPQ-45

■取付図

※筋かい側のCPQ-45は6本でOKです。

CPQ-75 (Mブルー)×9本 柱側

筋かい CPQ-45 (シルバー)×6本 筋かい側

DIT制震筋かい金物 (外付け用)

土台・横架材の面から 135~210mm

床合板 30mmまで対応

横架材



写真は内付け用です。

## 用途

- 壁倍率2倍用筋かい(90・105×45)を容易かつ強固に接合し、制震効果も有する金物です。

## 特長

- 高減衰ゴムと金物の変形により、減衰効果が期待できます。
- 内付け用と外付け用で製品が異なります。
- 土台・横架材から離れた位置に接合できるため、かど金物との干渉を回避できます。
- 筋かいを突き付けて接合できるので、柱・横架材を欠き込む必要がありません。
- 左右対称なので右勝手、左勝手がなくても便利です。

## 使用方法

- ① 本体を土台・横架材の面から135~210mmの範囲内に柱側金物下端がくるように合わせます。(床合板ありの場合でも土台・横架材の面から135~210mm)
- ② 付属のビスで柱と筋かいを接合します。筋かい側のビスは共通の4本とまたはR2本の計6本にて接合します。(P.122「筋かい側ビス打ち込み位置」参照)

## 注意事項

- ご使用前に必ず設計・施工マニュアルをお読みください。
- 応答解析は別途費用がかかります。ご希望の方はお問合せください。
- 本体の取付け高さに注意してください。
- 外付け用はホールダウン金物(アンカーボルト)と干渉し、柱側ビスが打てない場合があります。外付け用製品を内付けでご使用いただくことはできませんので、注意してください。
- 内付け用製品を外付けでご使用いただくことはできません。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(＃3)は別売品です。
- ビスをまっすぐ打ち込むために125mm以上のビットの使用をお勧めします。
- 本製品とは別に柱頭・柱脚の仕口に必要金物を取付けてください。
- 取扱いに関する注意事項は20ページを参照してください。

## DIT制震筋かい金物

型番	商品コード	出荷単位	梱包	作業工程別梱包の分類	メーカー希望小売価格 円/個(税抜)
DSS-I(内付け用)	099002	1個	10個/ケース	構造	8,000
DSS-O(外付け用)	099003				8,000

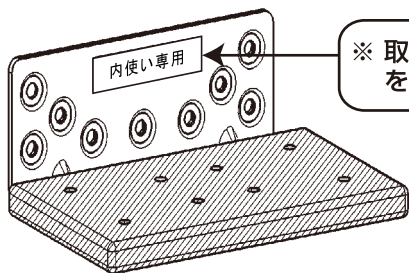
材質	JIS G 3302 SGH400
表面処理	溶融亜鉛めっき鋼板(Z27 クロムフリー)
付属品	柱側専用ビス……CPQ-75(Mブルー)×9本 筋かい側専用ビス…CPQ-45(シルバー)×6本
承認等	ハウスプラス確認検査(株) 評定書 HP評定(木)-15-004
開発元	第一工業大学・横浜国立大学

# DIT制震筋かい金物 取扱説明書(内使い用・外使い用)

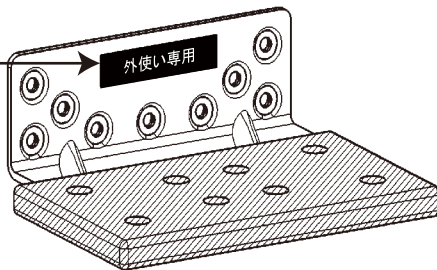
※ご使用前に必ずお読みください。



金物は〈内使い用〉〈外使い用〉の2種類あります。  
取付け方法が異なりますのでご注意ください!



※ 取付け前に必ず内使い用・外使い用  
をご確認ください。



## 用 途

- 壁倍率2倍用筋かい(90・105×45)を容易かつ強固に接合し、制震効果も有する金物です。



建設省告示第1460号第1号  
【二】対応  
ハウスプラス確認検査(株)評定書

## 特 長

- 高減衰ゴムと金物の変形により、減衰効果が期待できます。
- 内使い用と外使い用で製品が異なります。
- 土台・横架材から離れた位置に接合できるため、かど金物との干渉を回避できます。
- 筋かいを突き付けで接合できますので、柱・横架材を欠き込む必要がありません。
- 左右対称なので右勝手、左勝手がなくとも便利です。

## 接 合 具

- 専用ビス 【柱側】CPQ-75(Mブルー)×9本  
【筋かい側】CPQ-45(シルバー)×6本

## 注 意 事 項

- ご使用前に必ず設計・施工マニュアルをお読みください。
- アンカーボルトの設置に関しては設計・施工マニュアルをお読みください。
- 応答解析は別途費用がかかります。ご希望の方はお問合せください。
- 本体の取付け高さに注意してください。
- 外使い用はホールダウン金物(アンカーボルト)と干渉し、柱側ビスが打てない場合があります。外使い用製品を内使い用でご利用いただくことはできませんので、注意してください。
- 内使い用製品を外使い用でご利用いただくことはできません。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。  
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。  
※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ビスをまっすぐ打ち込むために125mm以上のビットの使用をお勧めします。
- 本製品とは別に柱頭・柱脚の仕口に必要な金物を取付けてください。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意してご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

施工方法は **裏面** をご覧ください。



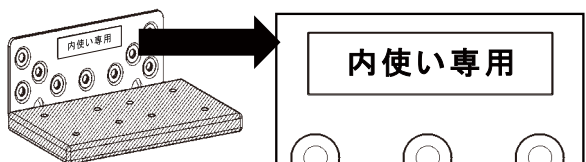
金物は〈内使用〉〈外使用〉の2種類あります。  
取付け方法が異なりますのでご注意ください!

DIT制震筋かい金物 取扱説明書  
(内使用・外使用)

## 施工方法

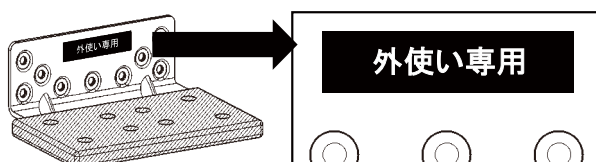
- ① 内使用、外使用を確認します。
- ② 本体を土台・横架材の面から135～210mmの範囲内に柱側金物下端がくるように合わせます。  
(床合板ありの場合でも土台・横架材の面から135～210mm)
- ③ 付属のビスで柱と筋かいを接合します。(下図「筋かい側ビス打ち込み位置」参照)  
※ 筋かい上下で同じ使い勝手の製品をご使用ください。  
※ 筋かいを設置する前に、金物を柱に接合してください。(内使用)

### 内使い

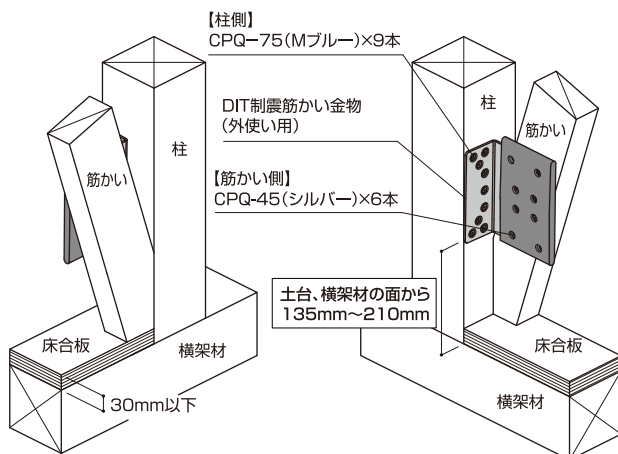
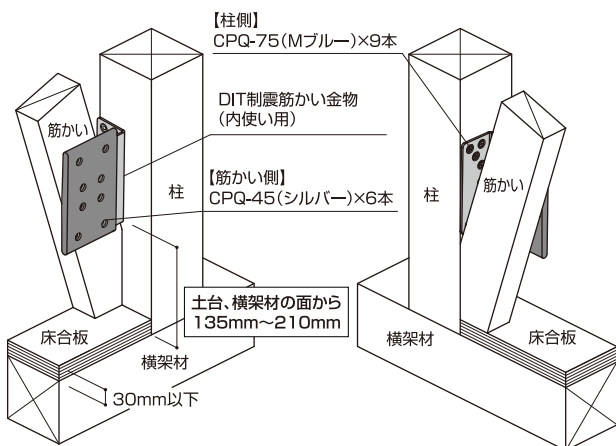


白地に黒文字の「内使い専用」シール

### 外使い

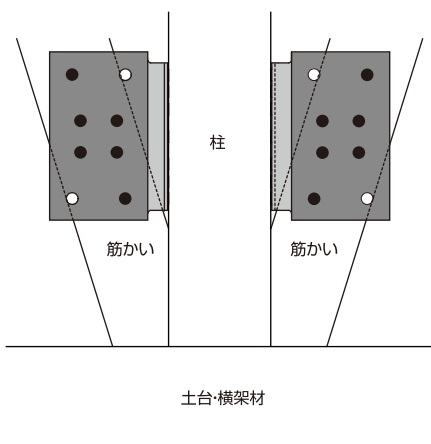
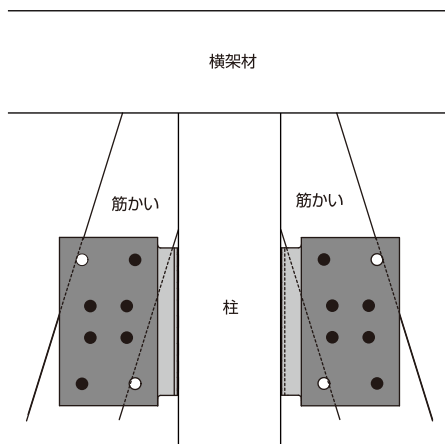


黒地に白文字の「外使い専用」シール



筋かい側のビス穴は裏と表とで穴径が異なります。  
ビスは必ず穴径が大きい側から打ちます。

### ■筋かい側ビス打ち込み位置



### 注意

同一柱の両側から本体を取付ける場合は、ビスが干渉しないように注意してください。  
同一筋かいは上下で同じ使い勝手の製品をご使用ください。  
アンカーボルトの設置に関しては設計・施工マニュアルをお読みください。

- はビスで接合してください
- はビス不要です
- ※筋かい側のCPQ-45は6本でOKです。
- ※ビスをまっすぐ打ち込むために125mm以上のビットの使用をお勧めします。

# BXカネシン株式会社

本 社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 4-19-12 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770  
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077